

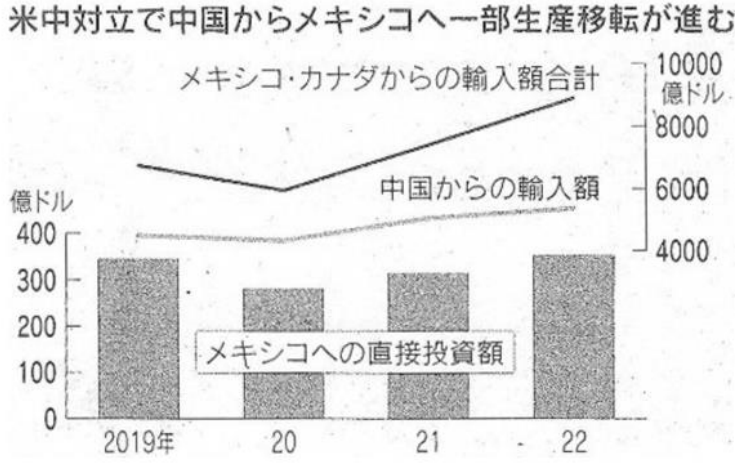
週間国際経済 2023 (21) No.355 07/02~07/09

- 07/02・世界株 時価総額 1 割増し 上期 100 兆ドルに、ピークの 8 割回復 <1>
過去最大値は 21 年 11 月 120 兆ドル 利上げ停止の楽観シナリオ崩れれば逆回転のリスク
・EU 首脳 中国依存減で合意 経済安保と貿易、両立に苦慮
- 07/03・テスラ世界販売 8 割増 4~6 月 値下げ・補助金で勢い
- 07/04・「北米経済圏」再び脚光 USMCA (米・メキシコ・カナダ協定) 発効 3 年 <2>
米中対立で中国企業の対メキシコ投資、メキシコの対米輸出急増 米に生産回帰せず
・サウジ原油減産 来月も 100 万ドル維持 ロシアは 50 万バレル減産 価格下支え
- 07/05・人種優遇「違憲」企業に余波 米大学巡る連邦最高裁判断 職場の多様性阻む
・「ハーバード大は白人優遇」米人権団体 卒業生や寄付者の子供ら入試で優遇
- 07/06・米利上げ停止に反対論 FOMC6 月議事要旨 18 人中 9 人が残り 2 回の利上げ想定
あと 1 回 4 人 残り 3 人は 3 回から 4 回を想定 次回指標見て判断
・日銀副総裁、金利操作修正「市場に配慮」 バランス重視
- 07/07・中国、車の値下げ抑制 BYD やテスラ、16 社合意 政府が競争介入 <3>
・メタ「スレッズ」開始 3000 万人が利用登録 SNS 勢力図に変化の予兆 <4>
ツイッター混乱で商機 ツイッターが「メタ、企業秘密盗む」と書簡
・米 2 年物金利、一時 5.1% 台 16 年ぶり高水準 利上げ長期化観測で <5>
- 07/08・米雇用、6 月 20.9 万人増 失業率 3.6% に低下 平均時給、前年同月比 4.4% 上昇
・米金利上昇で日米株安 雇用堅調、利上げ「年内 2 回」に傾く
日経平均、一時 400 円下落
・半導体メモリー 1 年で 4 割安 需要横ばい在庫解消に時間 サムスン営業益 96% 減
・米中、半導体規制巡り対話 イエレン米財務長官、李強首相と会談 <6>
・アジア移民労働、再び活発 昨年 460 万人、コロナ前水準迫る
行動制限緩和 産油国で需要増 送金額最高 (約 48 兆円)、経済を下支え
・米、クラスター弾供与 侵攻後初 ウクライナ反攻後押し 英やスペイン反対
・中韓、関係改善で一致 次官級協議 韓国「一つの中国」尊重
- 07/09・中国車値下げ抑制撤回 「16 社合意」 世論の反発に配慮か
・元徴用工判決金 韓国が履行急ぐ 原告 7 割受領、残りも供託手続き

<1>

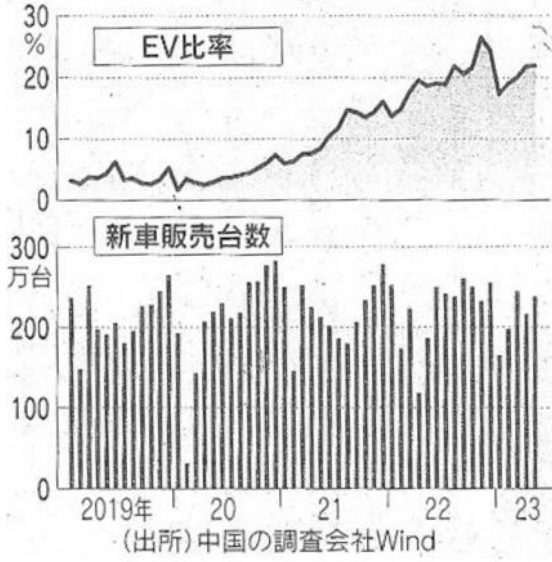


<2>



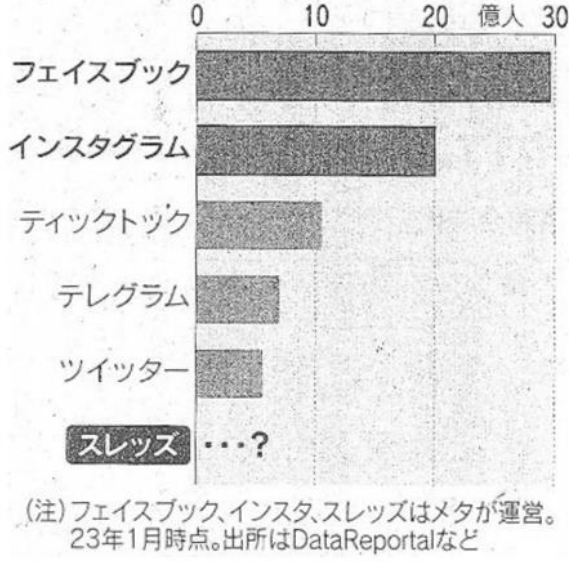
<3>

中国車市場でEVの存在感が増している



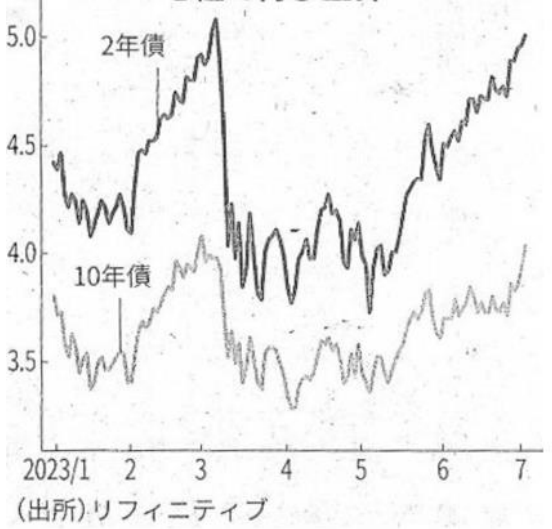
<4>

主なSNSの月間利用者数



<5>

米金利は地銀破綻後の急低下を経て再び上昇



<6>

米中両国が抱える懸案

| | |
|--------------|--------------------------------|
| 半導体の輸出規制 | 米国が先端半導体、中国が半導体素材の輸出規制を強化 |
| フレンドショアリング | 米国は友好国との供給網再構築を急ぐ。中国は分断を深めると反発 |
| 双方の関税引き上げ | 米国に引き下げ論もあるが、対中強硬派の反発などで進展乏しく |
| 新興国債務や気候変動問題 | 半導体などを巡る対立が激化し、共通の懸案事項も議論が深まらず |